

## 第 51 回全日本社会人卓球選手権大会 実施要項

- (1) 名 称 第 51 回全日本社会人卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 29 年 11 月 3 日（金・祝）～5 日（日）
- (3) 会 場 ジップアリーナ岡山（岡山県総合グラウンド体育館）  
JR「岡山」駅西口（運動公園口）よりバス 岡電バス岡山理科大学行 約 10 分  
「スポーツセンター前」下車  
〒700-0012 岡山県岡山市北区いずみ町 2-1-3  
TEL : 086-253-3944 FAX : 086-253-8900
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 岡山県卓球協会、岡山市卓球協会
- (6) 後 援 岡山県、岡山県教育委員会、（公財）岡山県体育協会、岡山市、岡山市教育委員会、岡山市体育協会、  
（予定）岡山県レディース卓球連盟、山陽新聞社、OHK 岡山放送
- (7) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス  
③男子ダブルス ④女子ダブルス
- (8) 試合方法 ①各種目ともトーナメント方式による。  
②男女シングルスのみ推薦選手のうち 16 人はベスト 32 決定戦よりスーパーシードとして出場する。  
（ダブルスのスーパーシードは設けない）  
③男女シングルスは準々決勝より 7 ゲームマッチ、他は全て 5 ゲームマッチとする。
- (9) 競技日程 11 月 3 日（金） 9:00～ 開会式  
9:30～ 男女ダブルス（1～5 回戦）  
男女シングルス（1 回戦の一部）  
4 日（土） 9:00～ 男女シングルス（1～5 回戦）  
男女ダブルス（準決勝・決勝）  
5 日（日） 9:00～ 男女シングルス（6 回戦～決勝）  
15:00～ 閉会式
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。  
②卓球台はグリーンまたはブルーを使用する。  
③使用球は、J T T A 公認プラスチック球；40 mm ホワイトのみとする。  
④同じユニフォームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニフォームを持参すること。  
⑤ゼッケンは平成 29 年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。  
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成 29 年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。  
②日本学生卓球連盟及び全国高等学校体育連盟に登録している者は出場できない。  
③学校教育法第 1 条に規定する学校に在籍する学生及び生徒（大学院生は除く）は出場できない。ただし、勤労を生活の主としている者で、大学、短期大学において夜間授業を行う学部、通信による教育を行う学部<sup>に</sup>在籍、または、高等学校において定時制・通信制の課程を履修しているものはこの限りではない。  
④本年度の全日本卓球選手権大会（マスターズの部）への重複出場は禁止する。ただし、マスターズの部に参加した者でも、この大会の男女ダブルスには出場することが出来る。  
⑤各都道府県の代表者選出方法は各加盟団体に一任する。  
⑥外国籍選手は日本で出生して引き続き 3 年以上日本に在住している者、あるいは、引き続き 10 年以上日本に在住している者は、男女シングルスに出場できる。ダブルス種目については出場資格制限はない。

⑦無条件参加選手（別表 1 参照）

◎シングルの部

- (イ) 平成 28 年度全日本社会人卓球選手権大会  
男・女シングルスベスト 16 の者。
- (ロ) 平成 28 年度全日本卓球選手権大会（一般の部）  
男・女シングルスベスト 16 の者。
- (ハ) クラブ委員会からの推薦者男・女各 2 名  
平成 29 年度全日本クラブ選手権大会終了後に決定する。

◎ダブルスの部

- (イ) 平成 28 年度全日本社会人卓球選手権大会  
男・女ダブルスベスト 8 の組。
- (ロ) 平成 28 年度全日本卓球選手権大会  
男・女ダブルスベスト 8 の組

(12) 参加人員 表 1

区 分	種 目  都 道 府 県 名	男	女	男	女
		子 シ ン グ ル ス	子 シ ン グ ル ス	子 ダ ブ ル ス	子 ダ ブ ル ス
1	岡山(開催地)、北海道、東京、愛知、福岡	10	10	5	5
2	埼玉、神奈川、静岡、京都	8	8	4	4
3	大阪、広島、長崎	6	6	3	3
4	岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、山梨、新潟、長野、 富山、石川、三重、岐阜、滋賀、兵庫、奈良、鳥取、島根、山口、香川、 徳島、愛媛、高知、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	4	4	2	2
5	青森、宮城、福井、和歌山	2	2	1	1

区分 1：開催県及び平成 28 年度日卓協一般男女選手登録人員上位 4 加盟団体

区分 2：平成 28 年度日卓協一般男女選手登録人員 5～8 位加盟団体

区分 3：平成 28 年度日卓協一般男女選手登録人員 9～12 位加盟団体

区分 4：区分 1・2・3・5 に該当しない加盟団体

区分 5：平成 28 年度日卓協一般男女選手登録人員が 1 位加盟団体の 1 割に満たない加盟団体

※一般男女登録人員は教職員、日本リーグの登録人員を含む

(13) 参加料 シングルス 1 名 3,000 円

ダブルス 1 組 4,000 円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

**（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）**

原本を〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373

コピーを〒710-1102 岡山県倉敷市茶屋町早沖 548-3 河本 充昭 気付

岡山県卓球協会 宛

TEL: (086) 420-2121 FAX: (086) 420-2122

※前年度ランキング保持者等で無条件出場選手は加盟団体を通じて申し込むこと。また申込書にその旨を明記する事。

(15) 申込締切 平成 29 年 9 月 11 日（月）必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

- (17) その他
- ① 一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。
  - ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
  - ③ 開会式には原則として全員参加すること。
  - ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
  - ⑤ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
  - ⑥ 個人情報の取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

⑦本競技大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本競技会参加者は競技会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規程違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合は、日本ドーピング防止規則に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

別表 1

第 50 回（平成 28 年度）全日本社会人卓球選手権大会による推薦者

男子シングルス			女子シングルス		
1	上田 仁	(東 京) 協和発酵キリン	1	森蘭 美月	(東 京) サンリツ
2	高木和 卓	(東 京) 東京アート	2	永尾 堯子	(静 岡) アスモ
3	村松 雄斗	(東 京) 東京アート	3	加藤 杏華	(岐 阜) 十六銀行
4	平野 友樹	(東 京) 協和発酵キリン	4	前田 美優	(大 阪) 日本生命
5	加藤 由行	(愛 媛) (株) フジ	5	田代 早紀	(大 阪) 日本生命
6	森田 侑樹	(東 京) シチズン	6	森 さくら	(大 阪) 日本生命
7	横山 輝	(広 島) 原田工業	7	平野 容子	(愛 知) 豊田自動織機
8	伊関 健太	(長 野) 岡谷市役所	8	森蘭 美咲	(東 京) 日立化成
	張 一博	(東 京) 東京アート		牛嶋 星羅	(茨 城) 日立化成
	高岡諒太郎	(東 京) リコー		土田 美佳	(広 島) 中国電力
バ	御内健太郎	(東 京) シチズン	バ	阿部 恵	(東 京) サンリツ
ス	笠原 弘光	(東 京) 協和発酵キリン	ス	大矢未早希	(東 京) サンリツ
ト	森 聡詩	(東 京) 東京ガス (株)	ト	久野 理世	(岐 阜) 十六銀行
16	軽部 隆介	(東 京) シチズン	16	平 侑里香	(東 京) サンリツ
	藤本 海統	(和歌山) 日鉄住金物流		松本 優希	(東 京) サンリツ
	森本 耕平	(東 京) 協和発酵キリン		三宅菜津美	(広 島) 中国電力
男子ダブルス			女子ダブルス		
1	{ 松平 賢二 (東 京) 協和発酵キリン 上田 仁 (東 京) 協和発酵キリン		1	{ 平 侑里香 (東 京) サンリツ 松本 優希 (東 京) サンリツ	
2	{ 久保田隆三 (東 京) シチズン 軽部 隆介 (東 京) シチズン		2	{ 土田 美佳 (広 島) 中国電力 宋 恵佳 (広 島) 中国電力	
3	{ 濱川 明史 (和歌山) 日鉄住金物流 松下 海輝 (和歌山) 日鉄住金物流		3	{ 田代 早紀 (大 阪) 日本生命 前田 美優 (大 阪) 日本生命	
4	{ 塩野 真人 (東 京) 東京アート 村松 雄斗 (東 京) 東京アート		4	{ 土井みなみ (広 島) 中国電力 土田 美紀 (広 島) 中国電力	
5	{ 笠原 弘光 (東 京) 協和発酵キリン 森本 耕平 (東 京) 協和発酵キリン		5	{ 阿部 恵 (東 京) サンリツ 森蘭 美月 (東 京) サンリツ	
6	{ 松生 直明 (東 京) リコー 鹿屋 良平 (東 京) リコー		6	{ 若宮三紗子 (大 阪) 日本生命 森 さくら (大 阪) 日本生命	
7	{ 森田 侑樹 (東 京) シチズン 神 巧也 (東 京) シチズン		7	{ 久野 理世 (岐 阜) 十六銀行 大森 玲奈 (岐 阜) 十六銀行	
8	{ 張 一博 (東 京) 東京アート 高木和 卓 (東 京) 東京アート		8	{ 松澤菜里奈 (岐 阜) 十六銀行 高橋真梨子 (岐 阜) 十六銀行	

平成 28 年度全日本卓球選手権大会<sup>ツキツク</sup>による推薦者

男子シングルス				女子シングルス			
1	水谷 隼	(東京)	beacon. LAB	1	平野 美宇	(東京)	JOCエリートアカデミー/大原学園
2	吉村 和弘	(愛知)	愛知工業大学	2	石川 佳純	(山口)	全農
3	吉田 海偉	(埼玉)	Global Athlete Project	3	橋本帆乃香	(大阪)	四天王寺高校
4	平野 友樹	(東京)	協和発酵キリン	4	佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
5	神 巧也	(東京)	シチズン時計	5	鈴木 李茄	(東京)	専修大学
6	上田 仁	(東京)	協和発酵キリン	6	松澤茉里奈	(岐阜)	十六銀行
7	龍崎 東寅	(東京)	JOCエリートアカデミー/帝京	7	石垣 優香	(東京)	日本生命
8	木造 勇人	(愛知)	愛工大名電高校	8	三宅菜津美	(広島)	中国電力
9	松平 賢二	(東京)	協和発酵キリン	9	永尾 堯子	(静岡)	アスモ
10	丹羽 孝希	(東京)	明治大学	10	安藤みなみ	(東京)	専修大学
11	吉村 真晴	(茨城)	名古屋ダイハツ	11	小道野 結	(静岡)	アスモ
12	坪井 勇磨	(茨城)	筑波大学	12	芝田 沙季	(大阪)	ミキハウス
13	碓塚 将人	(東京)	早稲田大学	13	森蘭 美月	(東京)	サンリツ
14	笠原 弘光	(東京)	協和発酵キリン	14	加藤 杏華	(岐阜)	十六銀行
15	御内健太郎	(東京)	シチズン時計	15	森蘭 美咲	(東京)	日立化成
16	緒方遼太郎	(東京)	JOCエリートアカデミー/帝京	16	前田 美優	(大阪)	日本生命
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	丹羽 孝希	(東京)	明治大学	1	平田 有貴	(静岡)	アスモ
	酒井明日翔	(東京)	明治大学		永尾 堯子	(静岡)	アスモ
2	藤村 友也	(愛知)	愛知工業大学	2	土田 美佳	(広島)	中国電力
	吉村 和弘	(愛知)	愛知工業大学		宋 恵佳	(広島)	中国電力
3	水谷 隼	(東京)	beacon. LAB	3	若宮三紗子	(大阪)	日本生命
	吉田 雅己	(愛知)	愛知工業大学		森 さくら	(大阪)	日本生命
4	木造 勇人	(愛知)	愛工大名電高校	4	山本 怜	(東京)	中央大学
	松山 祐季	(愛知)	愛工大名電高校		明神 佑実	(東京)	中央大学
5	張 一博	(東京)	東京アート	5	政本ひかり	(京都)	同志社大学
	高木和 卓	(東京)	東京アート		朝田 茉依	(京都)	同志社大学
6	松生 直明	(東京)	リコー	6	田代 早紀	(大阪)	日本生命
	鹿屋 良平	(東京)	リコー		前田 美優	(大阪)	日本生命
7	宇田 幸矢	(東京)	JOCエリートアカデミー	7	阿部 愛莉	(東京)	早稲田大学
	張本 智和	(東京)	JOCエリートアカデミー		徳永 美子	(東京)	早稲田大学
8	森蘭 政崇	(東京)	明治大学	8	平 侑里香	(東京)	サンリツ
	渡辺 裕介	(東京)	明治大学		松本 優希	(東京)	サンリツ

クラブ委員会推薦

男子シングルス	女子シングルス
1 ( )	1 ( )
2 ( )	2 ( )

全国教職員連盟推薦

男子シングルス	女子シングルス
1 ( )	1 ( )
男子ダブルス	女子ダブルス
1 {	1 {

注 1) 段級制規程要約

段位取得について (平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会 (マスターズの部)  
 ③全日本選手権大会 (一般・ジュニア) ④全日本選手権大会 (団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権 (マスターズの部) の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約 (平成元年以降)	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会 3 回目出場者	2 段
(ウ) 同一大会 5 回目出場者	3 段
(エ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト 16 入り経験者	4 段
(オ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト 4 入賞経験者	5 段
(カ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複の優勝者	6 段